



笑顔みせる渡邊さん

渡邊タノさん（新町3）が来年一月、百歳を迎えます。タノさんは、最近神経痛で脚が悪くなりひざで歩いてはいますが、とても元気です。食事は三食きちんと食べ、好き嫌いがありません。

新町3

渡邊タノさん（明治24年1月4日生まれ）
まだまだ まだ 元気です

一、二年前までは炊事や草とりをやられたということです。

娘のセツさん（六十六歳）は、取材のときも笑顔を絶やさないタノさんを「とても社交的で、物事にくよくよしない性格なんです」と語ってくれました。タノさんの

人生は順風ではなく、子ども八人のうち六人まで先立たれるなど辛い思いもしました。母が若いころ、「凄んだ押し売りを一人で追い廻したことが、今でも頭に残っています」と、気丈な母の思い出を語りながら、「もつと長生きしてね」とねぎらっていました。

蒲ヶ沢

田村リイさん（明治23年11月13日生まれ）
隣近所に話し相手がいっぱい



話になつく田村さん

田村リイさん（蒲ヶ沢）も今年の十一月十三日にめでたく百歳を迎えます。

リイさんは、つい最近、五月ごろまでは杖をつきながら近くを歩いたり、外掃除などしていたそうです。現在、脚の神経痛のため床で寝起していますが、言葉もはっきりしていて、とても元気です。目も良く、針に糸を通すほど

の視力です。食べ物も好き嫌いなく、残っている自分の歯で若い人と同じ食事をしています。

リイさんは手先がとても器用で、五、六年前までは、趣味でわら細工や糸まり作りをしていました。そしてできたホウキやぞうりを近所の人に分けてあげたりして、とても喜ばれたということです。リイさんの孫にあたる耕太郎さん（四十七歳）は、「隣近所の家へよく

でかけていきました。まわりの人たちがよく話し相手になり、家族同様に声をかけてくれたことが、おばあちゃんの一番の長生きの秘けつですよ。まわりの人にほんとうに感謝しています」と、奥さん

もうすぐ百歳 おめでとございます



皆さんは、長生きする秘けつをご存じですか。物事にくよくよしないことに好き嫌いのない食事。けれど一番の秘けつは、家族みんなの笑顔です。九月十五日は敬老の日。もちろんこの日に限らず、おじいちゃん、おばあちゃんを囲んで楽しいひとときを持ちましょう。